

成果報告書

(地域部活動推進事業)

徳島市川内中学校

所在地	徳島県徳島市
運営主体	特定非営利活動法人 阿波農村舞台の会
事業目標	民芸部において、月数回程度(土、日、平日放課後)本事業を校区内の公共施設で行い、教員の土日の勤務時間の減少、計画的な休日の確保、負担の軽減を図る。 また、専門的指導者を持続可能な形で確保する体制を構築するとともに、生徒指導面にも配慮し、安心・安全に継続的な質の高い活動ができるよう支援する。
団体・組織等の連携	<pre> graph TD A[文化庁(事務受託業者) 委託(700千円)] --> B[徳島県(教育委員会グローバル・文化教育課)(10千円)] B --> C[徳島市教育委員会(指導・監督)] C --> D[再委託(300千円)] D --> E[特定非営利活動法人 阿波農村舞台の会] E -- 講師派遣 --> F[川内中] E -- 活動場所提供 --> G[民芸部] </pre>
活動場所	校区内の専門施設
活動概要	校区内にある阿波人形浄瑠璃の専門施設「県立阿波十郎兵衛屋敷」を土日の活動場所として、施設を管理運営しているNPO法人のこれまでに蓄積した人的ネットワークや、資料、映像などを活用して、人形の基本的操作方法をはじめ、太夫・三味線体験、人形浄瑠璃の歴史学習など幅広く活動する。月1～2回、2時間程度実施し、特定非営利活動法人阿波農村舞台の会がコーディネート及び講師の派遣を行う。

○本事業による成果

- ・徳島市川内中学校の校区内にある県立の人形浄瑠璃専門施設を会場にしたことから、生徒は自転車で移動することができた。また、舞台装置や人形も利用することが容易であり、人形浄瑠璃部の練習場所としては最適であった。
- ・同施設には、11の人形座が毎日交代で公演に来ていることから、人形遣いの指導者を継続的に確保することが可能である。十郎兵衛屋敷の午後の公演が14時30分に終了することから、15時の練習開始は最適な時間帯であった。
- ・同施設は観光施設でもあることから、観光客がいた場合は、来館者に映像を見せるなどで練習を中断しなければならないこともあったが、練習風景を見てもらうこともできた。

(顧問の勤務時間)

休日は、地域部活動の指導者として携わることから、土日の顧問の勤務時間については、100%減。

(顧問[休日は指導者]へのヒアリング)

- ・荷物や道具は学校から阿波十郎兵衛屋敷に運ぶことになるが、生徒は校区内の本施設に自転車で通えるので、安全で便利。
- ・本施設は、12月の県民文化祭の会場であり、練習場所が本番の舞台となるので良い。
- ・複数の指導者がいることで、各パートの指導ができて良い。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・夏休み期間中に集中的に練習することで、秋のジュニア浄瑠璃フェスティバルで「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」を上演することができた。
- ・十郎兵衛屋敷の展示や映像を見せることができ、人形浄瑠璃の上演技術の練習のみならず、阿波人形浄瑠璃の歴史や徳島の風土や産業と芸能の関わりなどについても学習させることができた。

(指導者へのヒアリング)

- ・技術の基本は勿論、1体の人形を3人で遣う気持ちをそろえることを大切に指導している。
- ・小学生や大人も参加して、少しずつ輪を広げていきたい。
- ・楽しい部活動を目指している。
- ・人形浄瑠璃継承のため、楽しさを知ってもらって未来へとつないでいきたい。

○運営上の工夫

(団体・指導者へのヒアリング)

- ・学校行事等をふまえた学校全体の部活動スケジュールに合わせて、実施日程や内容を調整しながら、地域部活動を行った。
- ・活動日や活動時間等については、市や学校策定の「文化部活動に係る活動方針」に則って実施した。
- ・十郎兵衛屋敷の備え付けの体温計や消毒液を使って、入場時に検温とアルコールによる手指の消毒を行い、マスクを着用して練習することで感染症対策を講じながら実施できた。
- ・9月の文化祭、10月の浄瑠璃フェスティバル、12月の県民文化祭に向けて、地域部活動を実施した。文化祭等、年に数回の発表の場を目標として、新入部員を含めての演目練習など集中的に地域部活動を行った。
- ・指導者は、技術的指導は勿論、生徒に関わる経験が豊富で生徒指導に関しても優れており、子供からの信頼は厚い。

○継続的な運営に関する課題

①練習場所の確保

現在は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、一般客や一般団体客が減少しているため、本施設で地域部活動が実施可能。1日2回の公演を行っているため、一般客や一般団体客が多くなると、地域部活動を実施するために時間調整が必要

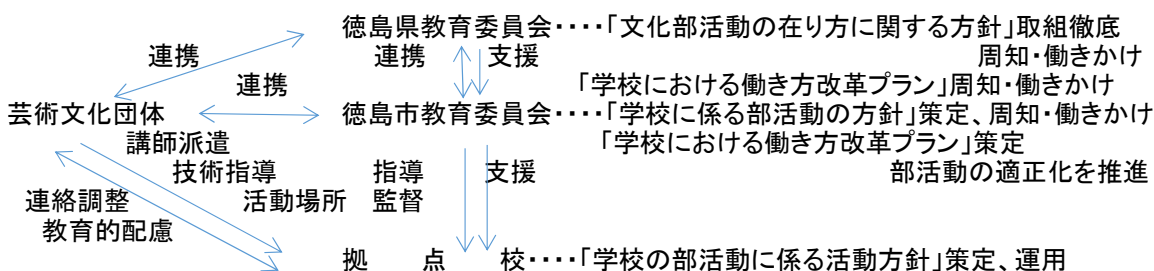
②費用確保 会場費、道具(人形等)、消耗費等

③講師の確保

④部員の減少などで持続可能な部活動のあり方が問われている

⑤学校との緊密な連絡調整や情報共有が必要

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画



募集方法	4月に学校で部活動紹介や体験部活動を行い募集。
指導者	特定非営利活動法人 阿波農村舞台の会から講師を派遣。
移動手段	自転車
活動費用	事務局委託費 30万円
スケジュール	基本活動 月1～4回(学校の部活動スケジュールによる) 夏期休業期間 15:00～17:00(人形の基本的操作方法、演目の練習) 年間スケジュール 特になし
保険加入等	スポーツ安全保険(生徒8人)加入

成果報告書

(地域部活動推進事業)

徳島市徳島中学校

所在地	徳島県徳島市
運営主体	徳島交響楽団ジュニアオーケストラ
事業目標	オーケストラ部において、月数回程度(土、日、平日放課後)本事業を行い、教員の土日の勤務時間の減少、計画的な休日の確保、負担の軽減を図る。また、専門的指導者を持続可能な形で確保する体制を構築するとともに、生徒指導面にも配慮し、安心・安全に継続的な質の高い活動ができるよう支援する。
団体・組織等の連携	<pre> graph TD A[文化庁(事務受託業者)] -- 委託 (700千円) --> B[徳島県(教育委員会グローバル・文化教育課)(10千円)] B -- 再委託 (390千円) --> C[徳島交響楽団ジュニアオーケストラ] C -- 講師派遣 --> D[徳島中 オーケストラ部] E[徳島市教育委員会(指導・監督)] </pre>
活動場所	学校施設
活動概要	楽器の移動が大変なことから、学校施設の教室等を活動場所とし、月2回程度、2～3時間のパート練習や合奏の指導、また他校との合同練習への引率などを、市内で活動する「徳島交響楽団ジュニアオーケストラ」から講師(外部指導者)の派遣を受ける。日程や指導の内容についても学校と団体が連携を密にとりながらコーディネートを行う。

○本事業による成果

(部員の声)

- ・基礎的な練習方法や曲の演奏の仕方まで、いろいろな技術指導をしていただけるのでとても勉強になった。
- ・普段とは違う緊張感や意欲がわき、練習がより充実し、集中して楽しく演奏できた。

(顧問の声)

- ・私の専門は合唱なので、講師の先生に専門的な指導をしていただけることはとても心強い。また、技術的に質の高い継続的な指導により、生徒もどんどん上手になっている。オーケストラを指導できる先生はそう多くはいない。学校の事情によっては、今まで経験したことのない部活動の顧問になるかもしれない。専門的な知識を指導力のある外部指導者がいることで、顧問の心の負担軽減がとても大きかった。私自身も講師先生による生徒への指導を「見て」「学ぶ」ことができるので、顧問による平日放課後日々の指導にもつながった。
- ・年度当初に保護者宛に、本事業についての周知文書を発出した。地域からの信頼が厚い指導者に指導していただけるということで、生徒指導等においても生徒や保護者からの理解は大きく協力的であった。

(教員の負担感について)

- ・土日等休日の顧問勤務時間については、顧問一人あたり10.3%減であったが、顧問の精神的負担は大きく軽減した。また、夏休み期間等の平日にも数回地域部活動が実施された。

楽器演奏経験の豊富な指導者から、より具体的な奏法の指導を受けることができ、第10回日本学校合奏コンクール2021グランドコンテスト(中学校の部)において、銀賞を受賞した。

○児童・生徒への指導に関する工夫

指導者は、アマチュア奏者として楽器演奏活動を長年継続しており、徳島交響楽団ジュニアオーケストラにて子供たちを指導するなど、指導経験も豊富である。楽器の特性等を考慮した指導を行っている。

(団体・講師の声)

・中学生の段階で、身につけてほしい技術や知識について常に考えながら、指導をしている。また、生徒が楽器を演奏する機会を通して、オーケストラのことを好きになってほしいと考えている。今後も楽器の演奏や音楽鑑賞等、どんな形でもいいので、ずっと音楽に関わり続けてほしいと思っている。そして、生徒が音楽を心から楽しいと感じてもらえるような指導を常に心がけている。

・先生方の質問や相談等にも応じ、今後指導者の育成にもつながってほしいと考えて指導している。

○運営上の工夫

(団体・講師の声)

・学校行事等をふまえた学校全体の部活動スケジュールに合わせて、実施日程や内容を調整しながら、地域部活動を行っている。

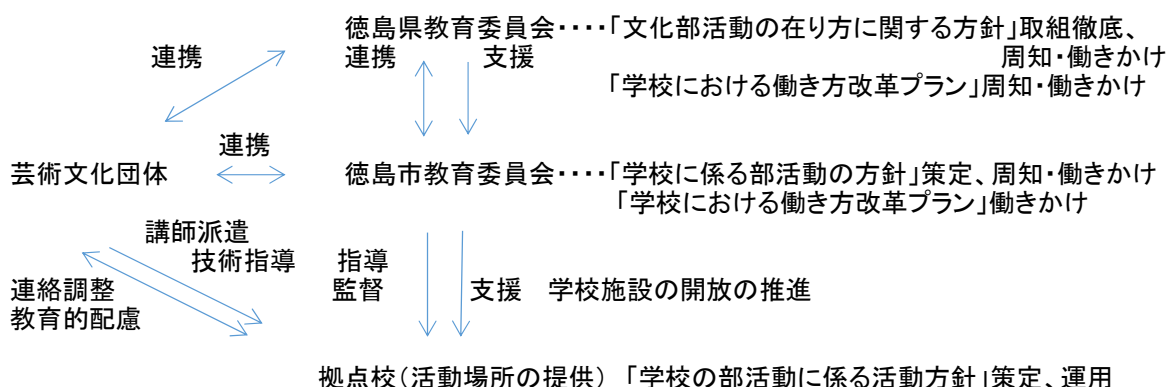
・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施する。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響による、部活動中止や学校施設内への講師の招聘自粛等、学校の方針に従い実施する。

・活動日や活動時間等については、市や学校策定の「文化部活動に係る活動方針」に則って実施する。

○継続的な運営に関する課題

- ①指導者の確保(特に平日において)
- ②活動場所の確保(楽器の運搬等もあり活動場所となる学校施設の、施錠等施設管理する学校関係者が必要)
- ③実施にあたって、学校とのスケジュール調整(学校行事やテスト休み等)
- ④生徒指導面の配慮から学校と指導者との緊密な連絡調整や情報共有が必要
- ⑤講師謝金や楽器の保守、修繕のための費用確保(部費で賅うには限りがある)

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画



募集方法	4月に学校で部活動紹介や体験部活動を行い募集。
指導者	徳島交響楽団ジュニアオーケストラから講師を派遣。
移動手段	(学校内施設で実施)
活動費用	事務局委託費 39万円
スケジュール	基本活動 月1~4回(学校の部活動スケジュールによる) 1回2, 3時間程度(パート練習や合奏) 年間スケジュール 特になし
保険加入等	スポーツ安全保険(53人)加入